

第 2 次川崎町総合戦略
【令和 4 年度 進捗状況】

目次

1	総合戦略の進捗状況について	1
2	令和4年度進捗状況管理結果	2
3	総合戦略進捗状況シートの構成と見方	3
4	総合戦略進捗状況シート	
	政策目標 1 川崎町ならではのしごとと安定した雇用の創出	4
	基本戦略① 農村型スモールビジネスの拡大	
	基本戦略② ハード・ソフト両面による産業基盤の整備	
	政策目標 2 川崎町への新しいひとの流れによる定住促進と交流人口の拡大	7
	基本戦略① 川崎町へのひとの流れの強化と戦略化	
	基本戦略② 定住促進に向けた基盤整備	
	政策目標 3 川崎町における若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり	10
	基本戦略① 魅力ある教育環境の構築	
	基本戦略② 若い世代における生活支援の強化	
	政策目標 4 安全安心な暮らしを営むずっと住み続けたいまち川崎町の実現	13
	基本戦略① 住みやすい地域づくりの推進	
	基本戦略② 住みよい社会に向けた基盤整備の充実	

1 総合戦略の進捗状況について

(1) 総合戦略の概要

全国的な少子化などにより日本の人口は減少傾向にあり、川崎町においても例外ではありません。高齢化により高齢者の人口が現役世代を上回り、今までと同じような行政サービス、社会保障制度が維持できなくなることが予想されます。そこで、町としては、バランスの良い世代構成を維持することを目標として、令和2年度から令和6年度までの5年間で力を入れてやるべきことをまとめたものが「総合戦略」となります。

この総合戦略では、人口の維持に向けて、「雇用の創出」「定住促進」「結婚・出産・子育て」「安心、快適なまちづくり」といった4つの点からアプローチを行い、それぞれの目標を達成するために必要な施策などを具体的にまとめています。

(2) 進捗状況管理

総合戦略の進捗状況については、政策目標ごとに設定した数値目標や基本戦略ごとに設定した重要業績評価指標（KPI）等の達成度を定期的に検証し、改善を行うことが求められています。

そこで本町では、基本戦略ごとに設定した数値目標に対して、現状の数値や対策を把握・整理することにより毎年進捗管理をすることとしています。

2 令和4年度進捗状況管理結果

基本戦略における、進捗状況は、下表のとおりです。なお、進捗状況における A~D の意味は、次のとおりです。

【進捗状況】

- A 政策目標の実現に向けて、順調に進捗している
- B 政策目標の実現に向けて、おおむね順調に進捗している
- C 政策目標の実現に向けて、やや遅れが生じている
- D 政策目標の実現に向けて、大幅な遅れが生じている

政策目標	基本戦略の進捗状況				基本戦略の数
	A	B	C	D	
1 川崎町ならではのしごとと安定した雇用の創出	1	2	1	0	4
2 川崎町への新しいひとの流れによる定住促進と交流人口の拡大	1	1	1	0	3
3 川崎町における若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり	1	0	2	0	3
4 安全安心な暮らしを営むずっと住み続けたいまち川崎町の実現	1	0	2	0	3

3 総合戦略進捗状況シートの構成と見方

総合戦略進捗状況シートの構成と見方は、次のとおりです。

総合戦略進捗状況シート							
1	政策目標	1	川崎町ならではのしごとと安定した雇用の創出				
2	基本戦略	1-①	農村型スモールビジネスの拡大				
3	対応するSDGs	 					
<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f9cb9c;"> <p>基本戦略ごとに総合戦略の内容を記載しています。</p> </div>							
4	主な取組	1-①-(2)	新規事業創出に向けた企業支援				
5	KPI (重要業績評価指標)		KPI (重要業績評価指標)	基準	R4	目標	
		1-①-(1)	新規就農者数	5人	H30	6人	10人
<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f9cb9c;"> <p>基本戦略におけるKPIの基準、目標及び令和4年度の実績を記載しています。</p> </div>							
6	R4の主な成果と評価	評価	B 政策目標の実現に向けて、おおむね順調に進捗している			した。やすく	
<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f9cb9c;"> <p>令和4年度に実施した主な取組の成果と課題、それを踏まえての評価と今後の方向性を記載しています。</p> <p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> A 政策目標の実現に向けて、順調に進捗している B 政策目標の実現に向けて、おおむね順調に進捗している C 政策目標の実現に向けて、やや遅れが生じている D 政策目標の実現に向けて、大幅な遅れが生じている </div>							
7	課題と今後の					る農地(ル)を 崎町を担	

【政策目標 1】

川崎町ならではのしごとと
安定した雇用の創出

総合戦略進捗状況シート

1	政策目標	1	川崎町ならではのしごとと安定した雇用の創出					
2	基本戦略	1-①	農村型スモールビジネスの拡大					
3	対応するSDG s	 						
4	主な取組	1-①-(1)	「嫁ぐ」農業プロジェクトの実施					
		1-①-(2)	新規事業創出に向けた企業支援					
5	KPI (重要業績評価指標)	KPI (重要業績評価指標)		基準		R4	目標	
		1-①-(1)	新規就農者数	5人	H30	6人	10人	R6
		1-①-(2)	創業支援事業利用件数	支援事業検討開始	R1	1件	5件	R6
6	R4の主な取組の成果と評価理由	評価	【1-①-(1)】 B 政策目標の実現に向けて、おおむね順調に進捗している					
			【1-①-(2)】 B 政策目標の実現に向けて、おおむね順調に進捗している					
		新規就農者数(※1)について、基準値は達成できているが、就農者が求める集団化した農地(※2)の貸付に苦慮した。創業支援事業利用件数について、R4年度から事業対象地域を本町商店街から川崎町内に拡充したことでより申請しやすくなったと考えられる。						
7	課題と今後の方向性	<p>新規就農者数については、川崎町では農地は多いものの集団化した農地ではなく、離れた場所に点々と存在している農地が多く、貸付しづらい状況にあるため、今後は貸付できる農地の状況、相続不明農地の把握等の調査(農地パトロール)を行う必要がある。</p> <p>創業支援事業利用件数について、R3年度は1件に対して、R4年度は増加しているので、今後も商業機能の充実や川崎町を担う新たな人材の確保を図るため、引き続き支援を行っていく。</p>						

(※1) 新規就農者数…まさるな状態で農業を始めた人(就農5年以内をカウント)。窓口相談に来た場合は、まず農業大学校で学ぶことをすすめる。

何をしたいかによって、農地を紹介するなど、就農希望者と農地所有者との間に入って土地を貸付など行う。

(※2) 集団化した農地…分散している農地を広く使いやすい形でまとめた農地。

総合戦略進捗状況シート

1	政策目標	1	川崎町ならではのしごとと安定した雇用の創出					
2	基本戦略	1-②	ハード・ソフト両面による産業基盤の整備					
3	対応するSDG s							
4	主な取組	1-②-(1)	産業基盤のハード整備					
		1-②-(2)	起業・経営支援ソフトの充実と活用推進					
5	KPI (重要業績評価指標)	KPI (重要業績評価指標)		基準		R4	目標	
		1-②-(1)	町内主要観光施設消費額	20,269万円	H29	59,800万円	23,300万円	R6
		1-②-(2)	中小企業人材育成事業活用件数	3件	H30	0件	5件	R6
6	R4の主な取組の成果と評価理由	評価	<p>【1-②-(1)】 A 政策目標の実現に向けて、順調に進捗している</p> <p>【1-②-(2)】 C 政策目標の実現に向けて、やや遅れが生じている</p>					
			<p>町内主要観光施設消費額について、目標値を達成できているが、これはコロナ流行の影響により、アウトドア需要（キャンプやゴルフなど）が増加したが要因ではないと考えられる。</p> <p>中小企業人材育成事業活用件数については、コロナによる研修の自粛及び事業周知が不足していたことによるものと考えられる。</p>					
7	課題と今後の方向性	<p>町内主要観光施設消費額については、コロナ5類への移行により、今後イベントの再開で観光客とともにさらなる消費額の増が見込める。</p> <p>中小企業人材育成事業活用件数については、事業周知を徹底し、豊前川崎商工会議所などの関係機関とも連携して推進していく。</p>						

【政策目標 2】

川崎町への新しいひとの流れによる定住促進と交流人口の拡大

総合戦略進捗状況シート

1	政策目標	2	川崎町への新しいひとの流れによる定住促進と交流人口の拡大						
2	基本戦略	2-①	川崎町へのひとの流れの強化と戦略化						
3	対応するSDG s	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 17 <small>パートナーシップで 目標を達成しよう</small> </div>  </div>							
4	主な取組	2-①-(1)	「アスリート輩出の地」を活かしたまちづくり						
		2-①-(2)	交流人口の拡大と戦略化						
5	KPI (重要業績評価指標)	KPI (重要業績評価指標)		基準		R4	目標		
		2-①-(1)	町内体育施設利用者数 (中央体育館、町民会館、B & G、運動公園)	95,701人	H30	54,647人	100,000人	R6	
		2-①-(2)	観光入込客数	265千人	H29	194千人	342千人	R6	
6	R4の主な取組の成果と評価理由	評価	【2-①-(1)】 B 政策目標の実現に向けて、おおむね順調に進捗している						
			【2-①-(2)】 C 政策目標の実現に向けて、やや遅れが生じている						
		町内体育施設利用者数については、コロナによる行動制限や少子高齢化のありを受け、基準値に達していないことが予想されるが、前年度27,659人に対して、R4年度は約30,000人増となっているため、増加傾向であると考えられる。 観光入込客数について、コロナ流行により、町主要イベントが実施できなかったことや、観光施設の閉園などが伸びていない原因と考えられる。							
7	課題と今後の方向性	町内体育施設利用者数について、今後は体育施設を利用したイベントを増やす等、利用者数増加に向けて工夫をしていく。 観光入込客数について、コロナ5類への移行により、イベントの再開で観光客及び消費額の増が見込め、新たな観光資源の掘り起しによりさらなる増を目指す。							

総合戦略進捗状況シート

1	政策目標	2	川崎町への新しいひとの流れによる定住促進と交流人口の拡大					
2	基本戦略	2-②	定住促進に向けた基盤整備					
3	対応するSDG s	 						
4	主な取組	2-②-(1)	交流人口の移住定住環境整備					
5	KPI (重要業績評価指標)	KPI (重要業績評価指標)		基準		R4	目標	
		2-②-(1)	5年間の転出超過数	1,025人	H30	522人	850人	R6
6	R4の主な取組の成果と評価理由	評価	A 政策目標の実現に向けて、順調に進捗している					
			5年間の転出超過数(※)について、数値だけ見ると目標値は達成しているが、これは転入者が増えているわけではなく、高齢化により施設入所や自宅療養等による生活拠点を動かす機会の減少で流出が制限されていること、若年層の人口が年々減っていることにより、進学や就職での流出が減少していることが達成の要因と考えられる。					
7	課題と今後の方向性	若年層の移住定住につなげるため、町の良さを今以上にアピールする必要がある。そのためにも、子育てのしやすさや住みやすい環境づくりに力を入れていく必要があると考える。そうすることで、転入者を増やすことができ、数値だけではなく、実際に若年人口の増加がのぞめる。						

※転出超過数…転入者から転出者を差し引いた数

【政策目標3】

川崎町における

若い世代の結婚・出産・子育ての

希望をかなえる環境づくり

総合戦略進捗状況シート

1	政策目標	3	川崎町における若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり					
2	基本戦略	3-①	魅力ある教育環境の構築					
3	対応するSDGs	  						
4	主な取組	3-①-(1)	学力向上プロジェクトの実施					
		3-①-(2)	特色ある教育システムへの支援					
5	KPI (重要業績評価指標)	KPI (重要業績評価指標)		基準		R4	目標	
		3-①-(1)	全国学力調査の平均正答率「計」	小学校 国語：47.0% 算数：41.0% 中学校 国語：58.5% 数学：41.5%	H30	小学校 国語：48.0% 算数：45.0% 中学校 国語：57.0% 数学：38.0%	県平均	R6
		3-①-(2)	放課後子ども教室講座数	196回	H30	0回	200回	R6
6	R4の主な取組の成果と評価理由	評価	【3-①-(1)】C 政策目標の実現に向けて、やや遅れが生じている					
			【3-①-(2)】C 政策目標の実現に向けて、やや遅れが生じている					
			<p>全国学力調査の平均正答率「計」について、小学校においては、児童の実態に応じて習熟度別分割授業（※）を行うことで、ひとりひとりを大切にする取り組みが進んでいる。放課後学習や土曜の風等、町としての学習支援体制が定着してきているが、家庭学習の定着が不十分である。さらに不登校の増加により中学校の学力向上に影響が出ている。</p> <p>放課後子ども教室講座数については、本来であれば6月に放課後子ども教室を実施しているところだが、コロナの影響で時期を見合わせて9月に代表者会にて中止決定された。</p>					
7	課題と今後の方向性	<p>全国学力調査の平均正答率「計」について、今後の対策として、学習の基盤をつくるための家庭や関係機関との連携を図り、学力低位層に向けた指導体制の工夫や安心して学べる風土を醸成する支援体制を構築していく必要がある。</p> <p>放課後子ども教室講座数について、コロナも減少傾向にあるため、R5年度は実施の方向で協議し、検討する。</p>						

※習熟度別分割授業…1つの学級を習熟度別に2つのグループに分けたり、2つの学級を3つのグループに分けて少人数で授業を行う授業形態・方法

総合戦略進捗状況シート

1	政策目標	3	川崎町における若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり					
2	基本戦略	3-②	若い世代における生活支援の強化					
3	対応するSDG s	 						
4	主な取組	3-②-(1)	新婚生活・子育て環境の整備					
5	KPI (重要業績評価指標)	KPI (重要業績評価指標)		基準		R4	目標	
		3-②-(1)	20歳～40歳代の5年間の転出超過数	733人	H30	422人	630人	R6
6	R4の主な取組の成果と評価理由	評価	A 政策目標の実現に向けて、順調に進捗している					
			20歳～40歳代の5年間の転出超過数について、これは若年層の転入が増加しているわけではなく、若年層の人口が年々減っていることから、進学や就職での流出が減少していることが目標値達成の要因と考えられる。					
7	課題と今後の方向性	この数値を見ると、2-②-(1)の「5年間の転出超過数」522人に対して、その内、20歳～40歳代が転出超過数全体の約8割を占めていることが分かる。20歳～40歳代の移住定住につなげるために、子育てのしやすさや住みやすい環境づくりに力を入れる必要がある。そうすることで、少子化対策にも期待ができ、人口増加にもつながる。						

【政策目標4】

安心な暮らしを営む
ずっと住み続けたいまち
川崎町の実現

総合戦略進捗状況シート

1	政策目標	4	安全安心な暮らしを営むずっと住み続けたいまち川崎町の実現					
2	基本戦略	4-①	住みやすい地域づくりの推進					
3	対応するSDG s	 						
4	主な取組	4-①-(1)	歴史と文化によるアイデンティティの構築					
		4-①-(2)	世代間交流の推進					
5	KPI (重要業績評価指標)	KPI (重要業績評価指標)		基準		R4	目標	
		4-①-(1)	盆踊り大会運営組織への加入団体数	運営組織設立検討開始	R1	0団体	10団体	R6
		4-①-(2)	多世代交流イベント数	6件	R1	8件	8件	R6
6	R4の主な取組の成果と評価理由	評価	【4-①-(1)】 C 政策目標の実現に向けて、やや遅れが生じている					
			【4-①-(2)】 A 政策目標の実現に向けて、順調に進捗している					
			<p>盆踊り大会運営組織への加入団体数について、盆踊り大会を実施する方向で進めていたが、コロナの影響によりR4年度は中止となり実施できていない。</p> <p>多世代交流イベント数について、イベントの多くがコロナウイルスの影響を受けていない時期であったため、開催することができた。実施競技としては、町長杯ソフトテニス大会、町民カローリング大会、町民ソフトボール大会、ニューススポーツ体験会、町民ハイキング、町民駅伝大会、町民グラウンドゴルフ大会、公民館対抗ソフトボール大会。</p>					
7	課題と今後の方向性	<p>盆踊り大会運営組織への加入団体数について、R5年度は町制85周年であるため、コロナの感染状況を見ながら、実施に向けて検討する。</p> <p>多世代交流イベント数については、今後も交流の機会を増やしていけるよう関係団体等と連携しながら継続していく。</p>						

総合戦略進捗状況シート

1	政策目標	4	安全安心な暮らしを営むずっと住み続けたいまち川崎町の実現					
2	基本戦略	4-②	住みよい社会に向けた基盤整備の充実					
3	対応するSDG s							
4	主な取組	4-②-(1)	住みやすい環境の整備					
5	KPI (重要業績評価指標)	KPI (重要業績評価指標)		基準		R4	目標	
		4-②-(1)	ふれあいバス利用者数	26,872人	H30	23,904人	29,000人	R6
6	R4の主な取組の成果と評価理由	評価	C 政策目標の実現に向けて、やや遅れが生じている					
			ふれあいバス利用者数について、人口減少に加え新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、住民の外出意欲が低下したことなどにより利用者が減少していることが考えられる。					
7	課題と今後の方向性	令和5年度に策定予定である「川崎町地域公共交通計画」にて、新たな数値目標を設定し、他公共交通との接続改善や路線の見直しを図り、利便性を向上させ、目標達成に努める。						